

米国大統領選挙と アセンション

米国大統領選挙とアセンションが、どう関係するのか、理解できない人々が多いと思われます。

今回のアメリカ大統領選挙は、トランプとバイデンの戦いでは無く、トランプ対 反トランプの戦いだと言われました。

更に、トランプ対 陰の世界権力であるとも言えるのです。

トランプは、アメリカを支配するCIAや軍産複合体と戦ってきました。世界権力が支配するWHOからの脱退まで宣言したのです。このまま黙って、世界権力がトランプを思い通りにさせる可能性は、低いのです。その戦いが、今回の大統領選挙だったのです。

トランプは態度が横柄で、他国との協調を無視する、独善的な人物だと評価する人が多いでしょう。パリ協定からも脱退し、イランの核合意も破棄しました。とんでもない我儘な男だと思っている人も少なくないのではないのでしょうか？

彼は、世界権力に従属している各国の今までの政策に矢を向けているのです。彼の本質を理解している日本人は少ないようです。

筆者も、その部類かも知れませんが、彼こそ、先に述べたように、世界の陰の権力と戦っているのです。

彼は、大統領になってから、いかなる利権も手にした事はありません。大統領の給与も返上していると聞いています。

今回の選挙でも、大財閥（イルミナティ）の寄付を一切受けていないのです。自分の私財と、支持者の寄付で賄っているのです。

従来の大統領、例えば、オバマは選挙に 1000 億円から 3000 億円を使いましたが、全て大財閥からの資金提供でした。

従って、当選した後は、資金提供者の要求を満たす義務が生じて、自分の信念を貫く事は不可能になったのです。借りを返す必要に迫られるからです。オバマの実績は、殆ど何もありません。

「We can」と叫んでいたものは、何処へ行ったのでしょうか？その点で、トランプには借りが無いのです。

だからこそ、思いきった政治が出来るのです。
地球は今やアセンションに向かって動き出しましたが、地上の人類は、ほぼ陰の世界権力に支配されてしまいました。
これらの勢力を一掃しない限り、アセンションは起きないと言われて
います。アセンションは、既に動き始めた為、悪の勢力の一掃は、
避けられないものとなりつつあります。
そんな中で、トランプ大統領は、その為に力を発揮してくれると期
待されてきたのです。ケネディ暗殺の相手と戦う「Qアノン」の人々
もトランプ支援に廻りました。こうして、アセンションとトランプ
大統領誕生は、深いつながりがあったのです。

処で、11月3日にアメリカ大統領選挙は実施されました。
日本のマスコミは、選挙前からバイデン優位を伝えていましたが、
選挙後もバイデン有利と言うニュースを伝え続けました。
選挙後は、通常は立候補者は静かに結果を待つものですが、4日にバ
イデン氏は「ほぼ勝利に向かっている」と発表しました。
彼は、投票前から近親者に「今回は勝てる」と話していたそうです。
トランプ氏が必死の選挙運動をしている中、バイデン氏はのんびり
と活動している印象を受けました。コロナ対策とかで、車に乗った
ままの視聴者に話しかける光景は、殆ど熱気も感じられないもので
した。トランプ氏の会場の熱気とは、対照的でした。
バイデン演説を受けて、トランプ氏も「自分が勝利した」と残され
た選挙地域の開票状況から、強気の発表を行いました。

処が、その後、トランプ氏に有利だったラストベルトと呼ばれる各
州の開票結果が、どんどんとバイデン氏有利に変わっていきました。
これこそ郵便による投票の結果ですが、郵便投票の管理のずさんさ
は、考えられない程のいい加減さでした。(意図的でした)
最終的には、バイデン264、トランプ214という状況で、一時
停まってしまいました。バイデン氏は、残り6議席で過半数の270
に達する訳ですから、どう見てもバイデン氏が大統領になったと考
える人が増えました。ネバダ州6議席を取れば、バイデン氏に確定
するという状況で、トランプ氏にとっては、土壇場に追い込まれた
状況でした。

ここでトランプ氏は、郵便投票の不正を理由に、開票の即時中止を

訴え、開票の残された各州裁判所に提訴しました。

しかし、全て却下されました。

この状況を受けて、日本のマスコミは、トランプ氏の悪あがきであり、開票を中止するなどはフェアでないと論評しました。

不正の証拠も無いのに、自分を有利にする為に、提訴したと批判しました。「負け犬の遠吠えだ」としたのです。

アメリカのマスコミ、主要メディアは、こぞってトランプ批判側に立ちました。ワシントンポスト、ニューヨークタイムズ、CNN、ABC、CBS、NBCなどの殆どのメディアが、バイデン当選確実の報道を7日に発表しました。

そして遂に、9日には「勝利宣言」をバイデンは一方向的に発表しました。

読者の皆さんは、この大統領選挙にどれ位の関心を、お持ちでしょうか？ 他国の事だからと、無関心だった人は、世界の真実、宇宙の真実を追求する気持ちの無い人だと言わざるを得ません。

宇宙的に、光の銀河連合から、「年内に大きな発表がある」と言われてきました。既に皆さんはご存知でしょう。

その発表が行われた時、「アセンションは第2章に入る」という情報もご存知でしょう。アセンションは、最終章は第5章なのです。

その年内の発表が何であるかは、全く分かりませんが、11月のアメリカ大統領選挙結果に、何らかの関係があるのではないかと考えられたのです。

アセンションが本格化する前には、地上の悪、例えばカバール陣営の人々は一掃されるという情報もご存知でしょう。

ディープステイトとも呼ばれる地上の権力集団があります。

世界の富の90パーセント以上を保有しているとも言われます。

彼らが富と権力で、ほぼ地上の人類全体を支配しているのです。

日本も完全に支配されています。

マイナンバーカードの作成を義務付けられていますが、これも、その一環です。世界の住民を番号で管理しようとしているのです。

自民党政治家、政権、みんな彼らの支配下にあります。

野党であっても、無縁とは言えません。

そんな中であって、トランプは世界のカバール陣営と戦ってきたのです。ケネディを暗殺したのは、CIAですが、軍産複合体も一味

です。アメリカを外部から支配する得体のしれない権力と戦ってきたのが、トランプなのです。

ワシントンポスト、ニューヨークタイムズなどのマスメディアは、殆どが彼らの所有であり、支配下にあるのです。

だからこそ、それに立ち向かうトランプを敵視するのは当然なのです。トランプは、主要なメディアを敵に廻して、戦う運命にあるのです。フェイスブックやツイッターも同じです。

トランプの発信は、削除されたり、妨害を受けるのです。

日本のマスコミも同じです。

トランプの談話を同時通訳していたTBSは、突如音声を消してしまいました。これも意図的なものでしょう。

同じく、タレントの小林麻耶さんがレギュラー出演しているグッドラックの番組の中で、司会者に問われて「レイプで何度も起訴されたり、息子が麻薬で逮捕されたりしているバイデンさんより、トランプさんの方がましでは？」と発言した処、その日に番組を降板させられ、所属事務所も首になったのです。

背後に働く力を恐れた関係者の取った行動ですが、それ位巨大な力が働いていると言う事を証明しています。

選挙前から民主党バイデン有利と言う情報を、アメリカメディアが流し続けましたが、いざ選挙となると、トランプ氏は予想とは違って、底堅い力を発揮したのです。

これを阻止するには、郵便投票で操作するしか方法がありません。

その計画は、綿密に立てられていたようです。だからこそ、バイデンは事前に当選を確信し、選挙運動にも熱を入れなかったのです。

これには、中国共産党も裏で協力したようです。

中国からも、数十億ドルというまとまった資金が、バイデンの息子の会社（中国と合弁）を通じて、バイデンに提供されました。

バイデンは中国に強い利権を持っていると言われます。

中国にとっては、どうしてもバイデンを勝たせたかったのです。

余談ですが、日本の尖閣列島は、10億ドル（1000億円）でバイデンが、密かに中国に売り渡したと言う情報があります。

事実かどうかは、今後の推移を見守る必要があります。

巨大権力に従属している日本のマスコミでは、不正の概要を一切伝える事はありませんが、1823年生まれの人が投票していたり、選挙登録人数より多い人数がバイデン票になっていたのです。

ミシガン州では、4日早朝4時前に13万8千票が一気にバイデン票となり、トランプ票はゼロでした。

どう考えても、そんな事はありません。

トランプはスピーチでは細かい不正を逐一話さないで、証拠も無いのに訴えていると、日本のマスコミは批判しますが、かなりの証拠が集まっているようです。ミシガンでは、郵便局員が11月4日の消印を、有効期日である3日に書き換えるよう、上司に指令されたと言う内部告発者まで出てきました。これから裁判で、多くの不正が明かされていくものと思われます。どんな結果になるか、その裁判の過程で、大きな秘密が暴露されるのかも知れません。

トランプの本質を知らない人々は、トランプに同情したり、応援しないでしょうけれど、トランプは、来るべきアセンションに向かう地球にとっては、重要人物なのです。大きな使命を持っているのです。彼こそ、ラスト・プレジデントと呼ばれているのです。

この4年間で世界のネガティブ勢力を追いつめてきたのです。大量逮捕が噂されていたのです。残りの4年間で、これら勢力排除の総仕上げを行う役割だったのです。

同じように、王室もラスト・エンペラーとなる時代を迎えています。

イギリス、オランダなどの王室です。

バチカンも、ラスト法皇になるのでしょうか。日本の皇室には、特別の役割があるのか、どうか、今の処不明です。

真実を知っていてトランプを応援する人々は、この選挙結果にイライラしたり、不安を持つかも知れません。

不安を持った人々は、この経験を来るべきアセンションの予行演習にせよと、光の集団が伝えています。不安を持つのは、外の情報に呑みこまれた事になるのです。不安は、自分の魂の波動が引き寄せるのです。主体を自分に置き、自分が経験したい未来を引き寄せていくのが良いのだそうです。経験の主体は自分にあるので、外部情報を過度に気にするなどと言う事です。

要は、これらの情報を静かに冷静に受け止めていけと言う事です。

大統領選挙の結果が明確になるのは、1か月以上かかるだろうと言われています。来年1月20日前後に、大事件が発生する可能性があるとも言われています。

来年から、世界は大きく変わっていきます。どちらの大統領が勝つにせよ、アメリカ合衆国は終焉していくとの事です。

今までのアメリカによる1極化は、多極化に変わっていきます。世界の警察の役割を担ってきましたが、その力を失っていきます。

処で、世界の人々が驚くような大きな発表の後、アセンション第2章に突入すると伝えられていますが、第2章、3章は、ひっちゃか、めっちゃかになっていくとの事です。

凄い時代に私達は生きているのです。いつも冷静な観察者の視点で、現象に呑みこまれない事が大切です。

主体を外側に置く生き方は、3次元的なのです。自分の内面に主体を置く生き方は、4次元、5次元的なのです。

生活のテンポを落として、ゆっくり生きる努力をする事です。

コロナは、それを教えてくれたのです。

せかせかと忙しく、ノルマに追われ、利益追求の企業の指示に奔走する生活は、即刻見直すべきです。

都会に憧れるのではなく、田舎に心を向ける時なのです。

何故、心をゆったりと生きた方が良いのでしょうか？

宇宙からのサインを見落とさない為です。全ての現象は、人類や私達に何かを知らせ、教えているのです。それを見落とさずに、キャッチする事が、これからは大事になっていくのです。

そうすれば、最終的には、全てが最善になっていくとの事です。

私達は、日頃良かれと考えて、努力もし、行動します。

しかし、結果は、必ずしも自分が思い描いた通りにはなりません。

この時、イライラしたり、不安を持つのです。

そのような状態では、アセンションが第2章、第3章に入っていた時、とても冷静におれなくなるのです。

だから今は、予行演習だと思って、冷静に自分の内面に意識を向けなさいと言われていているのです。

努力した後は、天に委ねるのです。天とは宇宙です。最終的には、間違いなく収まるように収まるのです。なるようになるのです。最善の結果が得られる方向へ進んでいくと信じる事が大切だとの事です。

トランプ氏がアメリカメディアを敵に廻して戦うのは、至難の業です。彼の発言は、意図的に報道されないようになりました。日本のマスコミも同じです。トランプを敵視した報道で溢れています。トランプは脱税で逮捕されるとか、ロシアに亡命するとかの報道もありました。もうバイデンが大統領になった前提で、話が進んでいます。こんな中で、トランプ氏が戦って、果たして勝ち目があるのでしょうか？

世界中がディープステートの勢力に牛耳られていると、お伝えしていますが、その勢力を相手に戦おうとしているのです。

言わば、世界を相手に戦うようなものです。

勝つ見込みが強ければ、世論は味方しますが、負ける可能性が強ければ、そっぽを向くのです。選挙の大掛かりな不正が徐々に明かされつつあります。アメリカ国民は、トランプを支持して、50万人に及ぶ大デモがワシントンで繰り広げられました。

しかし、日本のメディアは一切報道しません。

良識ある人々は、最早両者の戦いでは無く、民主主義が今後機能するか、しないかの戦いだと述べています。それ位、大規模な不正が行われたのです。日本の選挙も同じ状況です。国民の民意がストレートに選挙結果に反映する事はありません。今は、地球は真夜中にいるのです。「夜明けは近い」と言う希望はありますが、それにしても、見通しが暗い中に置かれています。

こんな状況が、どのように打開されていくのでしょうか？

決して、早とちりの結論を出さずに、これからの推移を見届けていかなければなりません。最終的に大統領に、どちらがなるか？だけの問題では無いのです。アセンションの動きと、どのように連動していくかと言う問題です。

バイデン大統領になったとしても、日本の状況はより厳しいものになっていくでしょう。菅総理がどこまで対応できるのでしょうか？

中国の影響が日本にも強くなってくるのでは無いでしょうか？

光の銀河連合やポジティブな地球外生命体は、結果は必ず良い状態、最善のものになると伝えていきます。

だからこそ、不安を持ったりイライラせずに、ゆったりと過ごさないとの事です。問題意識を持つ人ほど、イライラしたり、心配するのではないのでしょうか？ 無関心の人には、全く平然としておられるでしょう。しかし、これも試されているのです。

無関心でおられる人は、既に今回のアセンションの外にいる人なのです。読者の皆さんを含めて、私達はアセンションを信じ、その流れに乗ろうと覚悟を決めているのです。今世の目標は、アセンションする事にあると考えているのです。肉体の命を途中で終えても、霊体は生き続けますから、同じ事が言えるのです。

それでも、もしかしたら肉体がある間に、何らかのアセンションの到来を実感できるかも知れないのです。

次元の高い星に連れて行かれたと想像してみてください。

空気は美味しく、芳香を漂わせています。自然の光景は、色鮮やかで光輝いているのです。周りの人々は、穏やかで柔和で、愛が溢れているのです。今までの地球の姿とは、様相がまるで違う世界です。みんなが生き生きと躍動感に溢れています。

誰も命令したり、指示する人はいないにも拘わらず、ぼんやりとしている人はいないのです。アセンション後の世界は、今の地球とは様変わりでしょう。競争して、自他を区別して、自分が優位である事に喜びを感じる人は見当たらないのです。

読者の皆さんとは、そのような世界でお会いしたいものです。

そのような世界に地球が変わっていくのです。急激に変化するのかも知れません。地軸の移動など、大転変地異が起きる可能性もあります。その間は、宇宙船内部で待機するのもかも知れません。

何が起きても、「最善の結果を迎える」と言うコトバを記憶しておきましょう。未来の明るさを信じて、今をしっかりと生きるのです。

傍観者で生きるものではありません。宇宙の真理を追求していくのです。その為には冷静な観察も洞察も必要になります。

そして、お互いに情報交換していくのです。

大統領が決まる来年のアメリカは、大きく分断していくと言う観測があります。候補者 2 人の演説を聴いていると、トランプはずけずけと物を言い、バイデンは融和を訴えます。多くの人々は、バイデンがアメリカを融和に導いて呉れると考えてしまいます。処が、宇宙を学んでいる人の見解は違うのです。二人を比較すると、トランプは明るく、バイデンは暗い。バイデンこそ、アメリカ社会を分断に導くと喝破するのです。俗に、暗い場所にはお化けが出ると言います。お化けが出れば、民衆は恐怖を怯え、戦おうとするのです。戦えば、分断が益々進むのです。

暗闇を明るくしようとするれば、ローソクや灯油、乾電池の明るさがあります。しかし、幾らそれらを使っても、太陽の明るさには比較出来ないのです。バイデンは灯油、トランプは太陽でしょうか？ そんな大きな違いがあると、認識する人はいないでしょう。しかし、もしトランプ氏の働きで、世界が大きく変われば結果的に、そのように言えるのかも知れません。

今から 75 年前、終戦を迎えた日本人は、心も荒み、それまでの価値観を 180 度転換させられたのです。国民が大きく分断しても、やむを得ない状況でした。それでも日本国民は分断しなかったのです。分断が防がれた原因は、何処にあったのでしょうか？ それは、明るさを取り戻した事にあるのです。深い哀しさの中に、明るさを見出したのです。古関裕而の「鐘の鳴る丘」、「長崎の鐘」、並木路子の「リンゴの歌」などが、沈んだ心に明かりを灯したのです。古関裕而の曲には、何処までも明るさがありました。少女歌手、美空ひばりも民衆に、明るい希望を与えました。

日本は米軍GHQの管理下にありましたが、やって来た進駐軍は明るかったのです。ロシア人であったら、こうはいかなかったでしょう。明るさは、表面的な笑いからは生まれません。心の底から安心できた時、明るさを取り戻すのです。暗さから明るさに移行する境目には、番人が必要だと言われます。その役を果たしたのは、日本では陽気な進駐軍でした。アメリカでは、明るい大統領でなければなりません。明るさが分かっている人物です。

ここからは、余白を利用して、文章を追加します。

11月9日（月）から、アメリカでは本格的な投票の不正について、調査が開始されました。次から次へと不正の証拠が出てきましたが、アメリカメディアも、日本のメディアも一切報道していません。アメリカ大統領選挙では、大々的に計画的な不正が行われた事実を、日本のマスコミは一切報道していません。

何故でしょうか？ 日本のテレビ局には、外国資本が投入されており、それは全て民主党系列であり、その背後には巨大金融資本家が支配しているのです。

フジテレビは30パーセントの資本を受けており、ABCの系列

日本テレビは、22パーセントでNBC系列

TBSは、14パーセントでCBS系列

テレビ朝日は、13パーセントでCNN系列と言う具合です。

公共放送のNHKは、資本は受けていないのは当然ですが、CNNとABC系列なのです。これらは、全て民主党系列となっています。

トランプは共和党ですから、バイデンが恰も大統領確定したかのような報道を繰り返しているのです。

日本の菅総理は、この状況下でありながら、早々にバイデンに祝電を送りましたが、トランプに逆転したら、心証が悪くなるのは必定です。

日本のマスコミや政府が、何故バイデンを歓迎するのでしょうか？ バイデンは、早速の演説で「シリアの米軍は撤退しない」と明言しました。これは今まで通り、中東での戦争を継続する事を明言したのです。トランプは撤退を考えていました。

中東地域の戦争には、日本の金と日本製武器が使われているのです。特定の日本の政治家や企業にも、大きな利権があるのです。

軍産複合体と組んで、戦争を通じて利権に預かろうとする民主党と、軍産の力を削いで、戦争を終結させようとするトランプでは、大きな違いがあるのです。バイデンは、先に述べたように、中国共産党とも利権で繋がっています。一口に言えば、民主党やバイデンは、汚れた金に執着していると言えるのです。

トランプとディープステイトの戦い（まとめ）

ディープステイトとは、巨大な富を背景に、巨大な権力を持った集団を言います。言い換えれば、中央銀行を持っているグループです。中央銀行とは、アメリカのFRB、英国のイングランド銀行、ドイツのドイツ銀行、日本の日銀などを言います。

これらの銀行では、自由に輪転機を廻して、紙幣を増刷し、無から有を作り出して、いつでも富を作り出すことが出来るのです。

この銀行の経営に縁の無い多くの国民は、汗水流して働かない限り、富を手にする事は出来ません。

しかし、彼らは、輪転機を廻すだけで、幾らでも富を創造できるのです。こんな権利を誰が彼らに与えたのでしょうか？

当時の関係者や国会議員が、金で買収されて、そのような法律を作ってしまったのです。

このシステムを使って大金を生み出し、今やロスチャイルドやロックフェラーなどのグループにより、世界の企業、政治、経済、マスコミ、医学、教育、科学など、あらゆる分野が支配されています。

世界の警察の役割を担ってきたアメリカの大統領を、彼らの支配に従わせる為、選挙の度に巨額の金が必要なように仕向け、その金を彼らが提供してきたのです。（金は輪転機を廻せば、幾らでも作り出せるのです）オバマまでは、それが上手くいったのですが、トランプは自分の資金で選挙を賄い、巨大資本家の言いなりにはならなかったのです。しかも、トランプは、これらの悪の実態を知っており、いつ矛先を向けて来るか、放置できない存在なのです。

権力者たちの言いなりにならないトランプを、どうしても再選させてはならなかったのです。そこでマスコミを利用して、徹底的に彼の人気を落とすため、フェイクニュースを流したり、民主党に肩入れして、バイデン有利の報道を流し続けました。

万全の手段として、投票結果の操作を計画したのです。

コロナウイルスを蔓延させたのも、彼らの仕業ですが、コロナを利用して、郵便投票が安全であると宣伝して、呼び掛けたのです。

ニューヨークではコロナの感染者が顕著でしたが、トランプの人気を落とし、責任を追及する為に、彼らが仕掛けたものと思われます。

日本の選挙は 2012 年 12 月の衆議員選挙から、集票マシン「ムサシ」が導入され始めました。

以来、安倍内閣は負け知らずの選挙を戦いました。都知事選挙にも使われました。今度の選挙は菅総理が戦いますが、間違いなく勝利するでしょう。彼の人気や政策とは無関係です。

ただ 1 点、ディープステイトの意向に従う事が条件になります。

今回の大統領選挙では、オペレーション・スコア・カードシステムが使われました。「ドミノオン」社製の機器です。

そのソフトは、スマート・マテック社製です。外部から操作できるようにプログラムされています。(詳細は次回に述べます)

ここまでしてでも、トランプの再選は、彼らにとって有害なのです。ケネディも彼らの意向に背いた為に、暗殺されましたが、それと同じような事が起きようとしています。

最高裁で争って、トランプが勝利すれば、真実を求める世界にとっても喜ばしいのですが、負ければどうなるのでしょうか？

バイデンは、この陰の権力の言いなりなのです。中国の習近平とバイデンは、ツーカーの仲だと言われます。日米同盟がありますが、バイデンは中国に有利になるように動く可能性が高いのです。

台湾にとっても、一大事なのです。

極端に言えば、日本も台湾も中国に売られる可能性があるのです。

日本政府は、早々にバイデンに媚（こび）を売っていますが、弱みを握られて支配されていく事は明確なのです。

バイデンと対抗できる政治家が、日本に居ないのは情けない限りです。いずれにしても、私達は悲観的にならず、結果は良い方向へ向かうと信じて、事態の推移を見守っていききたいものです。

更に、この推移の行方は、アセンションに繋がっている事を忘れないで下さい。どちらが大統領になろうが、アセンションは起きると言う事。トランプが敗れば、アセンションの障害になると思われますが、その先どのように推移していくのか、注目されます。

余談ですが、民主党がここまで不正選挙に熱を上げたのは、トランプを勝たせると、オバマ、バイデン、クリントンの不正が暴かれ、逮捕される事を怖れたのです。陰の権力集団も同じです。

マスコミに支配される日本人（追加）

今年最後のこの情報が届く頃になっても、アメリカ大統領選挙の結果は、まだ決まっていないでしょう。11月3日の選挙の後、日本のマスコミは、バイデンの勝利が確定したとして、「次期大統領バイデン」と繰り返し報道しています。今回の選挙には、凄まじい不正があった事を伝えるメディアはありません。全くありません。

読者の皆さん、どうか、それを胸に刻んで記憶しておいて下さい。最終的にどちらが勝利するか、現状では不明ですが、正義が勝つならば、間違いなくトランプ大統領再選となります。

トランプを天が応援しています。トランプが勝利し、不正を働いた多くの人々が、国家反逆罪で逮捕される可能性は高いのです。そのニュースが流れた時、間違いなくアセンションに向かって、世界が動き始めた事になります。大いなる希望を持ちましょう。

日本のマスコミが、選挙に不正があった事を、ここまで伝えずに秘密にする意図は、何処にあるのでしょうか？

しかも、不正の最たるものは、集計システムに使われた「ドミニオン」社製の機器と、スマート、マティック社製のソフトにあったのです。日本では、集計システムを「ムサシ」が請け負っています。これを使用し始めてから、自民党が負けた事は1度もありません。間違いなく、操作されていると気付いている人々もいますが、まだまだ少数なのです。国民の大多数は「まさか」と言う反応です。

こうした眠れる国民を目覚めさせてはならないのです。

アメリカ大統領選挙の不正を、日本国民に知らせたら、当然、日本でも、同じ事が行われているのではないかと、疑問を持つ人々も増えるでしょう。それは、どんな事をして、避けなければなりません。自民党、日本政府にとっては、死活問題です。

更に、日本政府をコントロールする闇の権力にとっても、絶対に知られたくない秘密事項なのです。

どのテレビ局も、どの新聞も不正選挙の「ふ」の字も見当たりません。日本が完全に情報操作されている事が明確なのです。

これ程、日本のマスコミがコントロールされている事を、改めて再

認識した次第です。これは、疑いようのない現実なのです。
こうして、国民は重要な事実すら、知らされず、権力の意図により加工されたフェイクニュースを伝えられるのです。
SNSやNET情報で、このアメリカの実態を知った人々が増えました。特に若い人たちです。彼らは、確実に世界の実態を知った事でしょう。これは、アセンションに向かう地球にとって、大きなメリットになります。真実を知るには、日本のメディアからは不可能な事が明確になったのです。日本国内のニュースであっても、頭から信用するのは危険なのです。毎日、コロナの感染者が発表されます。これは意図的に行われています。国民に恐怖心を植え付ける意図があります。人口削減につながるワクチンへ誘導するのです。

テレビや新聞で発表されるニュースは、真剣に本気になって吸収しない事です。ぼんやり程度で聴いておきましょう。
自分の好きなテレビ局でも、あなたを裏切っているのです。
ニュース解説者、評論家、大臣、御用学者、彼らの説を本気で聴いてはなりません。彼らが慌てふためいて、話す時は、本当のニュースでしょう。そういうニュースが、伝えられる時が近づいています。

私達は、面白いスリリングな時代に生きているのです。
権力集団の意図やカラクリが分かった人にとっては、全ての「種や仕掛け」が分かって、見抜いてしまうのです。
こんな人が増えると、彼らの苦労が無駄になります。

私達が目指すのは、新しい国造りです。
ユートピア、パラダイス、天国のような世界を築くのです。
権力が不要の世界です。武器も不要です。戦争などありません。
何でも分かち合うのです。情報も分かち合うのです。自分達一部だけが真実を知って、他人には嘘を伝えるなど、有り得ない世界です。
そういう世界で生き抜いた方が、やり甲斐があると言う人もいますでしょう。そういう人達は、私達にはご縁がありません。

今回の米国大統領選挙で、多くの教訓を得られたのではないのでしょうか？ 賢くなる事は嬉しい事です。神に近づきます。
真実の情報を知って、自分の生き方を変えていく事により、私達はやがて神になるのです。神の波動を持てるようになるのです。